

SA 吹田通信 第71号

発行 SA 吹田事務局 〒564-0004 吹田市原町 3 丁目 7 番 2 号 TEL/FAX06-6388-3380
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.htm>

2009 年度 SA 吹田総会が開催される

広報部



平成 21 年 4 月 30 日 (金) 午後 2 時より千里市民センター大ホールに於いて SA 吹田総会が開催され、21 期生の新入会員も出席のもと、新年度がスタートしました。田尻駿一郎

氏 (前総務) の司会により、先ず小川忠夫

会長が開会の挨拶、ついで議長に金馬弘昌氏 (前総務)、書記に田原美佐穂氏 (総務) が選出され、議案審議に入り第 1, 2 号議案の 2008 年度活動報告・会計報告及び会計監査報告、第 3 号議案は会則改定、第 4 号議案は 2009 年度役員選出案、第 5, 6 号議案は 2009 年度活動方針案・予算案が提出され、審議の上すべて挙手で承認され総会は無事終了しました。

会則改訂概要

- ・ 会員資格：本年度開校の特定非営利法人大阪府高齢者大学校の修了者を追加。
- ・ 役員構成：企画、ブロック長を廃止。各部会の担当役員を任命。活動情報担当役員および顧問を創設。
- ・ 部会：福祉部会を創設。



次の方が新役員に選出されました (敬称略)

会 長	小川忠夫	18 期世代	歌体操部会	藤川安高	19 期都市
副会長	松川 裕	17 期地域	" "	加藤昌子 (兼任)	18 期福祉
" "	村松章良	18 期福祉	" "	井口とみ子	20 期福祉
" "	金馬弘昌	20 期国際	おもちゃ部会	八木秀雄	16 期世代
総 務	田原美佐穂	19 期国際	" "	久賀俊秀	17 期地域
" "	土岐剛三 (新任)	17 期地域	" "	熊田真也 (兼任)	18 期世代
" "	藤本美貴子	19 期都市	国際交流部会	田尻駿一郎	17 期国際
広報 / HP	金馬弘昌 (兼任)	20 期国際	" "	一井謙三 (新任)	17 期地域
" "	熊田真也	18 期世代	福祉部会	三好桂子	13 期地域
" "	森 孝二	18 期地域	" "	阿部まり	17 期福祉
" "	村松章良 (兼任)	18 期福祉	ブロック部会	沖村史生	19 期地域
" "	藤川安高 (兼任)	19 期都市	" "	村上 正	19 期国際
会 計	内田格子 (新任)	20 期国際	" "	熊田真也	18 期世代
活動情報担当	村松章良 (兼任)	18 期福祉	" "	見並泰男	19 期地域
" "	加藤昌子 (兼任)	18 期福祉	会計監査	奥谷英夫	16 期国際
顧 問	丹羽史朗	12 期国際	" "	佐藤宏一	18 期国際
退 任	新崎盛哲	武井 貢	中込善雄	森崎和明	

会長挨拶

SA 吹田・心ふれあいネット 2009 年度活動に向けて

会長 小川忠夫（18 期）

2009 年度の総会も無事に終わり、新しい年度の活動がスタートしました。今年の総会及び SA 吹田サロンには多くの会員の皆さんと「心ふれあいネット」の皆さんのご参加があり大変心強く、しっかりとした手ごたえを感じるスタートとなりました。

今年の活動は、SA 吹田・心ふれあいネットがまさに一体となって活動ができる体制づくりと SA 吹田と関連する多くのグループの皆さんと「ネットワーク」を組み活動の展開、この二つが大きなテーマになると考えています。

歌体操・おもちゃ・国際交流・福祉の各部会が更に活発な活動を行い、それに心ふ

れあいネット・ブロック活動が支えあう、そのような活動になればと思っています。

多くの会員の皆さんは、SA 吹田の活動の他にいろいろと自分のステージで活動されています。それぞれの場での活動を持ち寄り一段と大きな輪ができることを望んでおります。会員の皆さんが、一人ひとり何らかの形で SA 吹田・心ふれあいネットの活動に参画できるように計画し、しっかりとご案内をいたしたいと考えています。

今年一年、皆さんのご活躍とご協力により、一段と大きな活動になることを期待しています。皆さんのご健康と幸せを願って私の挨拶とさせていただきます。

SA 吹田サロン 大盛況に開催!!

広報部

総会終了後、SA 吹田サロンが開催されました。先ず各部会の活動が 1 時間ほどかけて紹介された後、喫茶コーナー、ビールコーナーが開かれました。いずれも大盛況でした。

各部会の説明には 80 名を超える方で会場はほぼ満員でした。プロジェクターや楽器を使ったユーモア溢れる楽しい説明や、歌

体操等の舞台と客席が一体となった実演もあり、皆さんは普段なじみのない部会の活動を十分知ることができたと思います。

その後、1 時間半ほど喫茶コーナー、ビールコーナーが開かれました。用意した席は満員となりコーヒー、ビールを飲みながら会員相互の懇談が行われました。また当コーナーの周りには写真、実物の展示コー



ティアゴさんの小学生向け説明の再演。ブラジルのことがよく分かりました。



八木おもちゃ部会長は衣装でもアピール。

ナーがあり、当該コーナーにも大勢の方が集まり写真をみたり、おもちゃづくりを試みたりしていました。これも、普段なじみのない部会の活動を詳しく知る機会となったと思います。

今回のサロンは初めての試みでしたが、会員の皆さまには大いに楽しんでいただい

たものと思います。主催者も開催して良かったと思っております。

なお、本サロンは SA 吹田の会員、心ふれあいネットの会員に限らず、何方も参加できました。受付の方の話では、16名の会員外の方が来場されたそうです。



舞台も客席も一体となつての歌体操



三好さん、阿部さん、
福祉部会を宜しくお願いします。

皆さん盛り上がっている
ビールコーナー



大賑わいの
おもちゃづくり実演コーナー



部会報告

各部会のここ1年の総括記事について3月号では国際交流部会、4月号ではおもちゃ部会を掲載しましたが、今月号は歌体操部会を掲載します。また本年度創設の福祉部会についても掲載します。（広報部）

歌体操部会の過ぎたこの一年

今までの SA 吹田歌体操懇談会を SA 吹田歌体操部会にすることになり多少の意見があったが承認された。その趣旨は、歌体操の活性化を目指し幅広い普及を図り福祉施設等のボランティア活動を支援するという目的で現在活動されている方を若返らせて行くことや要員を増やしていくことにもあった。また部会員の歌体操のスキルアップ

歌体操部会担当 藤川安高（19期）

のため実技の練習の機会を作ることにあった。

歌体操の進め方は定例会を毎月、第3月曜1時間会議、あとの1時間は歌体操実技を行うことにした。歌体操部会を発展させる為にも、広く人材を集める必要がある。その為に SA 出身でない方にも参加を願い、「心ふれあいネット」の会員になってもら

って、SA 会員と同じ扱いとし、構成部員把握のための登録や連絡網をつくった。

今回は活動として二つの課題をあげ 歌体操講座の実施そして 歌体操交流会の継続実施を掲げた。

歌体操講座実施結果は7月から2月にかけて回数8回で参加総数は126名で、1回あたり約16人であった。場所はメイシアターの練習室やりハーサル室で午後に行った。

歌体操交流会を平成 21 年 3 月 8 日(日)に千里市民センターの大ホールで行った。

交流会を盛り上げる為に、吹田市長や、近隣(高槻、茨木、豊中、大阪)の歌体操関係者を小川会長から声かけして頂き招待することになった。早急に歌体操実行委員会を立ち上げ準備作業に入った。委員会立ち上げについて SA 吹田・心ふれあいネット主催として取り組む為、SA 吹田役員も積極的に参加していただくよう、役員会でお願い

した。役割分担については各担当委員を出席者で概ね決めたが、SA 吹田の役員会にも諮り委員選出をした。「イン吹田いきいき歌体操」グループとも、交流会に向け詰めの準備作業に入った。会場づくり、入退場方法、座席等の割り当て役割分担等について再確認。プログラム 450 部を作成、各名札(来賓、座席、場所表示、注意書きなど)や案内ポスターを掛ける等準備をした。直前まで何かと準備不足で慌ただしかったが当日は、SA 役員、歌体操部会、イン吹田の皆さんの協力を得て会場作りが出来上がり、吹田市長や招待グループ、そして吹田歌体操グループを迎えることができた。吹田ケーブルの取材もあり参加 250 人強と会場は盛り上がり成功裏に終わった。

しかし反省点も多々あった。部会の目的には、まだ未達であるが一応の成果のでた一年であった。

福祉部会の新設～福祉部会を担当するに当たって

今回、小川会長の発案のもとに誕生した「福祉部会」を担当することになりました。SA 吹田の役員を離れてずいぶん長い月日が経ち戸惑うことばかりですがよろしく願います。

私が以前役員であった当時、丹羽会長、小北さんと小中学生を対象に車イス、ブラインドウォークなどの福祉教育に取り組む企画をしました。チラシを作り市役所の青少年指導課へ「福祉教育の必要性」を私たちの言葉で伝えました。熱心に聴いてくださった課長さんは校長会でチラシを配布してくださることになりました。

その結果、北山田小学校より依頼があり手を取り合って喜んだものでした。現在のように福祉教育が浸透していなかった時の

福祉部会担当 三好桂子(13期) ことで、私たちは一歩先を歩んでいたように依頼は年に1～2回、皆無の年もありました。目標の完成まではほど遠い状態でしたが SA の福祉の火は消されることはありませんでした。

この数年、社会福祉協議会の熱心な取り組みで「福祉教育」への関心は高まり、小中学校からの依頼が多くなりました。社会福祉協議会は「高齢者疑似体験教材」を購入、車イス、ブラインドウォーク、高齢者疑似体験と何時でも対応できる体制が整い、私たちも福祉教育体験授業を共にする機会が多くなって来ました。

私たちの部会は社会福祉協議会と連携を保ち、福祉教育に取り組んで行きたいと考えております。

7 年を振り返って～SA 吹田の立て直しに着手して 7 年

顧問 丹羽史朗（12 期）

平成 13 年の秋、SA 連協の久保会長（当時）から呼び出しがあり、事務局で永田副会長、大森総務部長の三役から、休会中の吹田地区を立て直すよう依頼があり、旧支部役員の有志の方のご意見を借りながら、12～13 期が中心となって何度も会合を重ね、どうしようにするか話し合いました。活動方針の策定、予算、役員構成、会則の改訂、ブロックの組み替えの他課題が山積みしており、忙しい日々でした。それだけに、半年かけて再建総会に漕ぎ着けたときには、やれやれという思いでした。旧支部から 4 万円（なぜか全額ではなかった）の寄付をいただき、財政的に大いに助かりました。

当時 100 名を超えていた会員が再発足と同時に 70 名弱に減少しがっかりでしたが、3 年ほどの停滞があれば無理もなかったかと思えます。それまでは会として実施する行事はバス旅行くらいで、日常活動は各自任せという状況をまず改善しなければと考え、活動の主軸を連協と同じくおもちゃづくりと歌体操の組織化に置きました。

そのなかで、おもちゃづくりはたまたま

始まった第 1 回の市民塾に応募したところ幸いに採用となり、また同時に市の担当部署と市教委や小学校などとのコンタクトを取るいわば「営業活動」が奏功して、イベントや課外授業に参加する機会が得られ、その引き続きで今も機会が増加してきております。

一方、歌体操については当時幾つものグループがそれぞれ独自に活動されており、組織化について話し合いの場もなかなか持てないような状況で、次の武内会長を経て、佐藤会長の時に実り、今暫く組織化に成功したと言えるようになりました。

いろいろ語りたいことはまだありますが、140 名にもなる大 SA 吹田に成長したのは私を支えてくださった役員の方々、後任を引き受けてくださった武内、佐藤、小川の歴代会長、そしてなによりも会員皆さま方の日々の努力の賜物であります。今回、顧問職となり一步下がったところから時にはアクセルを、そしてまた時にはブレーキを踏みつつ SA 吹田のさらなる発展を見守っていきたいと思います。

SA 吹田と私～SA 吹田に入会し役員にご推挙いただいて

総務部担当 土岐剛三（17 期）

2005、シルバーアドバイザー 17 期の講座を修了した折に SA 吹田への入会を薦めていただきましたが、少し体調を崩していた時で、また正直なところ人と共同で物事するのが苦手でもあり、お断りいたしました。ただ、吹田の 17 期の方とは同じ教室で過ごし気心の知れた方も多く、同期会の催しやグループホームのお手伝い等の活動を共にしてきました。

同期の方が SA 吹田の活動に積極的に参加しているのを見聞きする中、昨年いろいろと積極的にボランティア活動をされている田尻さんから SA 吹田への入会を薦めら

れ、一年間シルバーアドバイザー講座でお世話になったお返しのお機会があればと思い入会させていただきました。また今年度からは、総務の仕事のお手伝いをする事になりました。今まで、たまにブラインドウォークのお手伝いをしたくらいで殆ど活動の知識はありません。しばらくは出来るだけ皆さんの活動の現場を見させていただいて、少しでも応援出来るようになればと思っています。宜しくお願い致します。

また、シルバーアドバイザー講座や老大大で経験した、新しい出会いを楽しみにしています。

SA 吹田 2009 年 4 月度役員会議事録抜粋

1. 2009 年度 SA 吹田総会について、段取り、議案書等を決定。2. SA 吹田サロン実施計画決定。2. 部会報告。国際交流部会：21 年度助成金 19 万円申請中。おもちゃ部会：5 月 5 日(水)こども野外カーニバル(千里北公園)、5 月 9 日(土)吹田産

業フェア・吹田市国際交流プラザ(メシアター)。3. 連協報告：新旧役員の交代、佐藤氏(SA 吹田会計監査)退任高齢者大学専任。小川氏(SA 吹田会長)副理事長に就任。大阪府高齢者大学校、応募者数全科では 1000 名応募(定員 550 名)。

2009 年 4 月度 SA 連協理事会抜粋

1. 新役員の承認：理事長以下 3 役、事務局、渉外、企画、広報の委員長、顧問。2. SA 21 期生：修了式は平成 21 年 3 月 17 日(月)。修了者は 191 名。地区 SA への入会数 124 名(65%)。昨年より高い入会率。3. 高大関連：講師：地域交

流コーディネーター科 20 名、多世代交流科 6 名合計 26 名。受講者数：地域交流コーディネーター科 49 名 多世代交流科 45 名 合計 94 名。平成 21 年 4 月 14 日(火)入学式、20 日(月)オリエンテーション開始。

< 5 月度活動予定 >

SA 吹田活動予定(5 月)		(参加希望者は担当者へ連絡を)			
9 日	土	国際プラザおもちゃづくり	10:00~15:00	メシアター	小北月子
9 日~ 10 日	土 日	国際プラザ - 着付け、切り絵、喫茶、エスニック屋台村 etc.	10:00~15:00	メシアター (3 階・4 階)	田尻駿一郎

役員会

8 日	金	役員会	10:00~12:00	総合福祉会館
18 日	月	歌体操部会	10:00~12:00	メシアター練習室
30 日	土	印刷・ブロック部会	09:00~12:00	総合福祉会館

高齢者ケア関係

9 日	土	たんぽぽ歌体操	14:00~15:00	たんぽぽ
15 日	金	弘済院歌体操	14:00~15:00	弘済院第 2 特養

「編集後記」 月日の経つのは早いもので、本号でもって 2008 年度最後の SA 吹田通信の発行となりました。次号からは去る 4 月 30 日の総会で皆さまにご承認いただいた新年度体制のもと、心新たに発行を続けることとなります。前年度の皆さまからのご支援、ご鞭撻に感謝致しますと共に、今年度も変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて私毎になりますが、私は総会での役員退任と共に今月号をもって本通信の編集担当を退かせていただきます。これまでの皆さまのご厚情に深く感謝致します。

(広報：新崎)